

# 社会的インパクト評価ツールセット 子育て支援

Version 1.0

2018年6月25日

GSG 国内諮問委員会

社会的インパクト評価ワーキング・グループ

## I. はじめに

本評価ツールでは「子育て」を分野として取り上げています。子育て支援分野における事業は多岐に亘りますが、本評価ツールが対象とする子育て支援事業とは、親に対する相談事業や子育て支援を行うコミュニティづくりの事業に加えて、育児をする親が自由にライフコースを選択できることを目的とした配偶者や職場の子育てへの理解の向上事業も対象にしています。本評価ツールは、これらの事業を行う事業者へのインタビューをもとに作成しており、これらの事業に関わる方々を利用者として想定しています。

なお、以降では「ロジック・モデル」、「アウトカム」や「アウトプット」といった用語を使用していますが、定義については社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアルを参照して下さい。

## II. ロジック・モデルをつくる

社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアル 「Step 1: ロジック・モデルをつくる」参照

### II.1. 事業の目標と受益者の特定

本評価ツールでは、対象事業となる子育て支援事業の最終的な目標を、支援対象である「親」が「安心して子育てができること」、そして「育児をする親が自由にライフコースを選択できること」としました。したがって、事業の主な受益者を「親」としています。

ただし、子育て支援事業において、特に「子ども」も受益者になりえます。本評価ツールでは「親」に焦点を当てていますが、子どもが重要なステークホルダーであることを否定するものではありません。主たる受益者が「親」であっても、「子ども」の変化に目を配ることは重要だと考えられます。本評価ツールでは、「親」に関わるアウトカムしか扱っていませんが、実務では、「親」以外のステークホルダーの観点から、必要なアウトカム、その実現のために必要な活動やアウトプットを検討することをおすすめします。

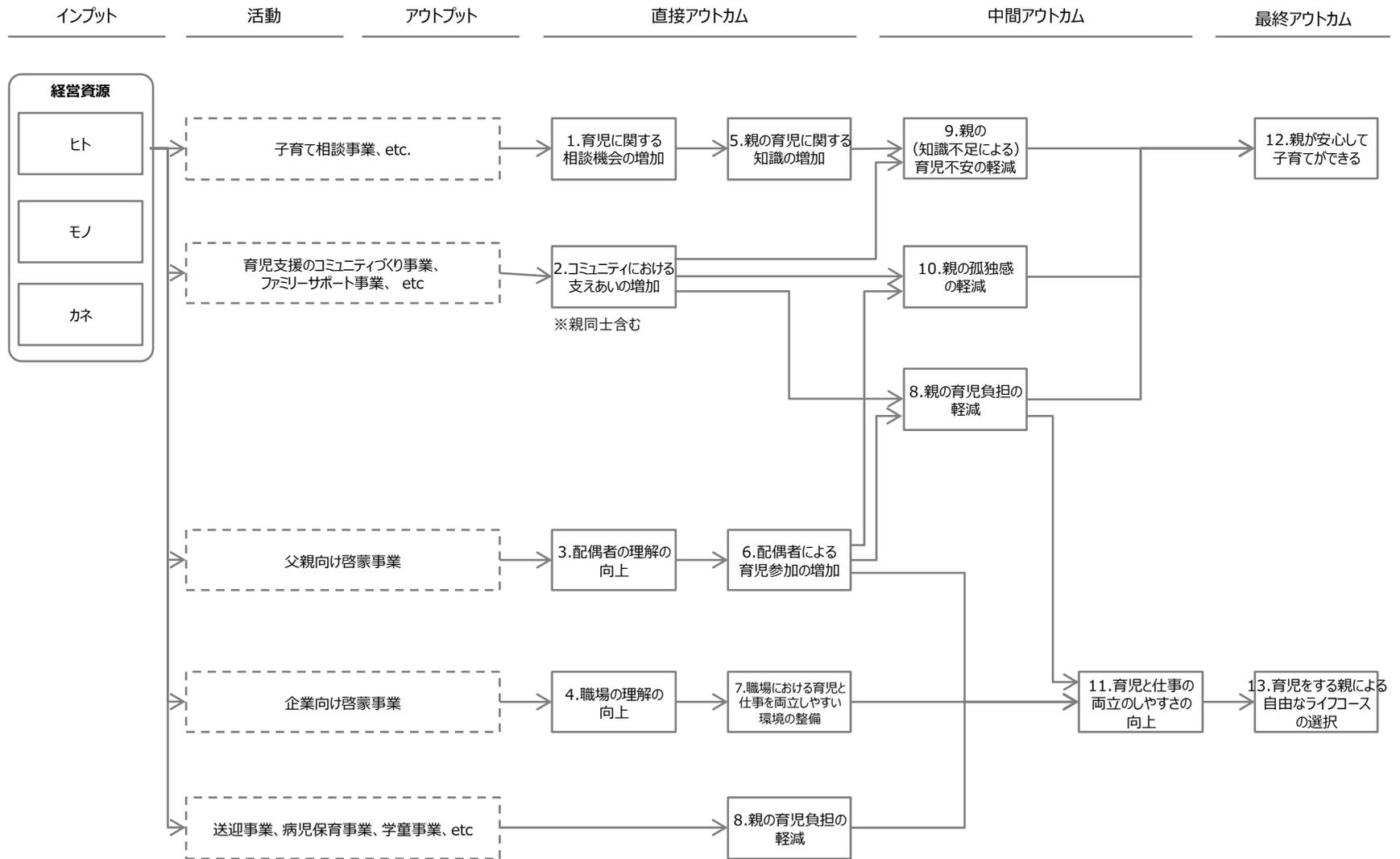
### II.2. アウトカム（成果）のロジックを考える

事業の成果・効果を評価し事業改善や説明責任の遂行につなげてゆくためには、事業の設計図ともいえる「ロジック・モデル」を検討し明確化する必要があります。「ロジック・モデル」とは、事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋を体系的に図示化したものです。図表1では、本評価ツールを作成するにあたってインタビューを実施した事業者や有識者の方へのインタビュ

一結果を基に作成した、ロジック・モデルの例です。「親が安心して子育てができること」の実現に必要なだと考えられるアウトカムの例を示しています。II.2.1以降で、アウトカムについて具体的に説明します。

なお、本評価ツールは、多くの団体で難しさを抱えているアウトカムの評価を支援することを主な目的としているため、「アウトプット」の評価についてはあまり触れていません。「アウトプット」とは、事業活動を通じて提供するモノやサービスを指し（例えば相談事業では相談員による相談サービスの提供）、その評価はサービスの対象者数や実施回数（量の側面）や、その内容に関する対象者の満足度（質の側面）などを通じて行われます。事業改善や説明責任の遂行のためには、この「アウトプット」の評価も重要である点は留意して下さい。

図表 1: 子育て支援分野におけるロジック・モデルの例



### II.2.1. 直接アウトカム

直接アウトカムは、事業の結果として直接的に発生する変化を指します。

本評価ツールセットで対象としている子育て支援事業における事業の結果として期待される直接アウトカムとしては、「親自身の変化」、「配偶者の変化」、「職場/社会の変化」に大別されます。

子育て相談事業においては、「育児に関する相談機会の増加」、そしてそのことによる「親の育児に関する知識の増加」が直接アウトカムと考えられます。また、子育て支援を行うコミュニティづくり支援事業においては、「コミュニティにおける支え合いの増加」を直接アウトカムとしました。また、配偶者や職場の子育てへの理解の向上事業においては、「配偶者の理解の向上」とその結果による「配偶者の育児参加の増加」や、「職場による理解の向上」とその結果による「職場における育児と仕事を両立しやすい環境の整備」が直接アウトカムと考えられます。

### II.2.2. 中間アウトカム

中間アウトカムは、上記の直接アウトカムの結果として期待されるアウトカムです。「親の育児に関する知識の増加」の結果としては、「親の育児不安の軽減」が期待されます。また、「コミュニティにおける支え合いの増加」によって「親の孤独感の軽減」（心理面での負担の軽減）や「親の育児負担の軽減」（時間面、物理面での負担の軽減）にもつながると考えられます。さらに「配偶者の育児参加の増加」も「親の孤独感の軽減」や「親の育児負担の軽減」につながると考えられます。

また、「配偶者の育児参加の増加」や「職場における育児と仕事を両立しやすい環境の整備」、病児保育や学童保育といった事業を通じて「育児と仕事の両立のしやすさの向上」が期待されます。

### II.2.3. 最終アウトカム

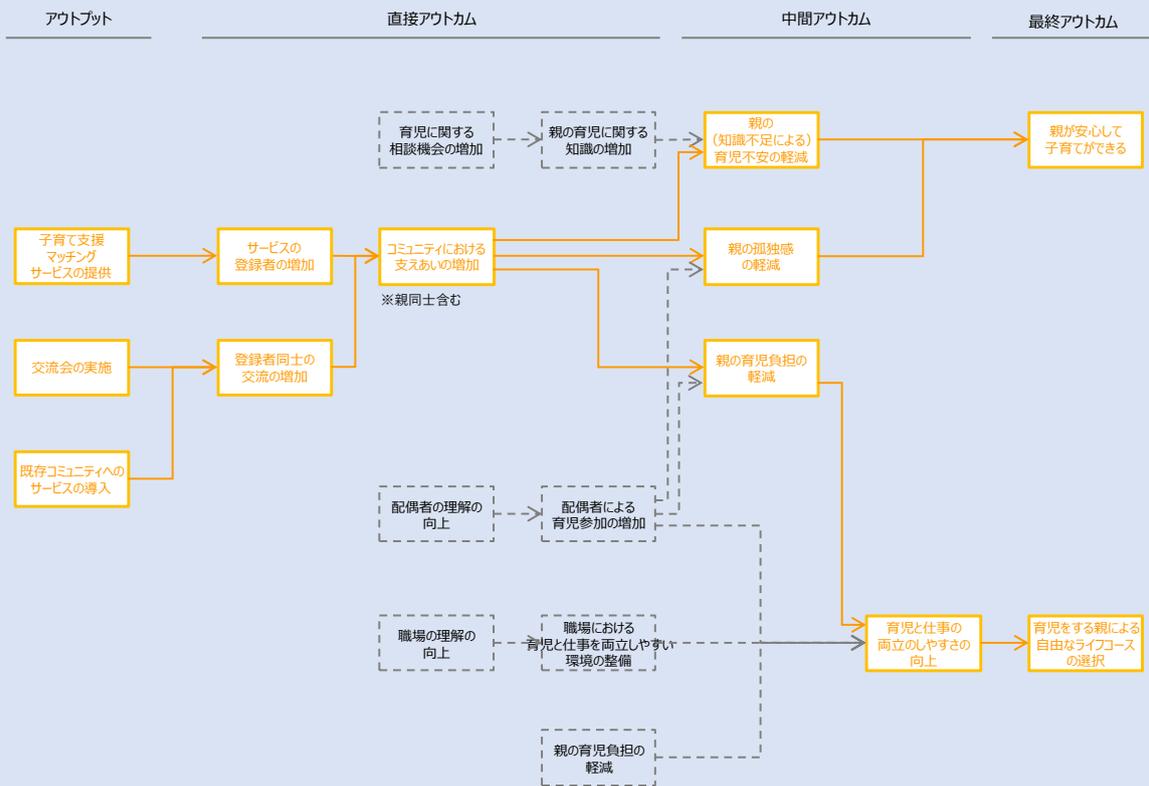
本評価ツールでは、II.1.で述べたとおり、直接アウトカムや中間アウトカムの結果として期待される長期的なアウトカムとして「親が安心して子育てができること」、「育児をする親が自由にライフコースを選択できること」を設定しています。親の育児不安や孤独感、育児負担が軽減されることが、「親が安心して子育てができること」につながります。また、家族や職場、そして社会の変化を通じて「育児と仕事の両立のしやすさが向上」することで、「育児をする親の自由なライフコースの選択」につながります。

# ロジック・モデルの例

## 株式会社 A：子育て支援プラットフォーム構築事業

株式会社 A は子育て支援を必要とする親子と支援したい人や企業が出会える場づくりやインターネット上でのプラットフォーム構築の事業を展開している団体です。

少子高齢化に伴い労働力人口が減少している現在の日本において、出産後の育児負担からキャリア形成や職場復帰を断念する女性に対する育児支援が喫緊の社会的課題となっています。当社は、知人・友人といった顔見知りの親同士がつながり、送迎や託児を頼り合えるオンラインサービスを提供しています。また、オンライン上だけで完結するのではなく顔見知り同士による共助にこだわった子育て支援を目指しており、交流会の実施や既存コミュニティ（集合住宅等）への導入を進めることで、顔見知り同士による支え合いを狙っています。顔見知り同士による支え合いの増加を通じて、親の育児不安や孤独感、育児負担の軽減を通じて親が安心して子育てをできることを目指すとともに、育児をする親が自由にライフコースを選択できるような社会を目指しています。



### III. アウトカムを測定する方法を決める

社会的インパクト評価ツールセット実践マニュアル 「Step 4: 指標・測定方法を考える」 参照

「II. ロジック・モデルをつくる」で挙げたアウトカムを測定するためには、一般的には図表3に示すような指標、測定方法が有用です。

なお、以降で示す指標とその測定方法は、あくまで例を示したものであり、必ずこの指標や測定方法を用いて評価を行わなければならないわけではありません。評価を事業改善といった内部向けの目的で行う場合は、既存の指標や測定方法を用いるよりも、自団体が目指す具体的なアウトカムの内容に応じて、以降で例示されている指標や測定方法以外のものを用いるのはもちろんのこと、例示されている測定方法の質問項目を変えることが望ましい場合もあります。

以降で例示されている指標や測定方法は特定の価値判断を暗黙のうちに前提としている場合があります。評価を実施する目的を明確化した上で、以降に例示されている指標や測定方法、具体的な質問項目を確認し、自団体が考える価値、アウトカムを測定する上で適切かどうかを判断してください。

また、最終アウトカムについては、その実現までに長期間を要するものも多く、指標を設定することが難しかったり、仮に指標を設定し測定することができてもその変化に事業が「貢献」したことを評価することが難しかったりする場合がほとんどです。ただし、そうだとでも事業の最終的な目的を明確化するためにも、最終アウトカムをロジック・モデルとして明確化することは重要だと考えます。

図表 2: アウトカム指標と測定方法の一覧

No.	アウトカム	指標	データ測定方法	詳細掲載 ページ
1	育児に関する相談機会の増加	子育てに関する相談機会の有無	質問紙調査	P.8
2	地域における支えあいの増加	子どもを見てもらえる親族・知人の有無	質問紙調査	P.9
3	配偶者の理解の向上	家庭の中での育児の役割に関する配偶者の意識	質問紙調査	P.10
4	職場の理解の向上	職場における両立支援の必要性に関する意識	質問紙調査	P.11
5	育児に関する知識の増加	子育てへの自信の程度に関する親の意識	質問紙調査	P.12
6	配偶者による育児参加の増加	配偶者の育児・家事の実施状況に関する親の意識	質問紙調査	P.13
7		配偶者の子どもと過ごす時間、家事の時間	質問紙調査	P.15
8	職場における育児と仕事を両立しやすい 環境の整備	自身の職場における子育てと仕事の両立のしやすさについての親の意識	質問紙調査	P.16
9		職場における両立支援の実施状況	質問紙調査	P.17
10	親の（知識不足による）育児不安の 軽減	育児に対する不安についての親の意識	質問紙調査	P.18
11	親の孤独感の軽減	育児における孤独感についての親の意識	質問紙調査	P.19
12	育児負担の軽減	親の育児以外に割ける時間	質問紙調査	P.20
13	育児と仕事の両立のしやすさの向上	仕事と家庭や育児の両立の満足度についての親の意識	質問紙調査	P.21
14	親が安心して子育てができる	子育てをしている生活に関する満足度についての親の意識	質問紙調査	P.22
15	育児をする親による自由なライフコースの 選択	ライフコースの選択に関する理想と実際に関する親の意識	質問紙調査	P.23

**アウトカム** 1.育児に関する相談機会の増加  
**指標** 子育てに関する相談機会の有無  
**測定方法** 質問紙調査

出所：

相模原市「平成 25 年度子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」（2014 年）

---

問 13 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

1. いる/ある
2. いない/ない

問 13-1 問 13 で「1. いる/ある」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家族・祖父母等の親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、子どもセンター等）・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 市の子育て関連相談窓口
11. その他【例】ベビーシッター（                      ）

**アウトカム** 2. 地域における支えあいの増加  
**指標** 子どもを見てもらえる親族・知人の有無  
**測定方法** 質問紙調査

出所：

相模原市「平成 25 年度子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」（2014 年）

---

日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

**アウトカム** 3. 配偶者の理解の向上

**指標** 家庭の中での育児の役割に関する配偶者の意識

**測定方法** 質問紙調査

出所：

内閣府「平成 25 年度家族と地域における子育てに関する意識調査」報告書（2014 年）

---

Q8. あなたは、家庭での育児や家事は、だれの役割だと思いますか。この中から 1 つ選んでください。

- (ア) 妻の役割である
- (イ) 基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度
- (ウ) 妻も夫も同様に行う
- (エ) 基本的に夫の役割であり、妻はそれを手伝う程度
- (オ) 夫の役割である
- (カ) どちらか、できる方がすればよい
- (キ) その他
- (ク) わからない

※内閣府「平成 25 年度家族と地域における子育てに関する意識調査」報告書では、（ア）（イ）を「妻が主体」との意識とし、（エ）（オ）を「夫が主体」との意識、（ウ）（カ）を「同等」との意識と判断している。

**アウトカム** 4. 職場の理解の向上

**指標** 職場における両立支援の必要性に関する意識

**測定方法** 質問紙調査

出所：

厚生労働省「平成 29 年度仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査研究事業報告書 企業アンケート調査結果」（2018 年）

---

問 8. 貴社では、仕事と育児の両立支援の必要性を感じていますか。①男性社員、②女性社員のそれぞれについて、お答えください。（①②それぞれ、○は 1 つずつ）

	感じている	まあ 感じている	どちらと も いえない	あまり感じ ていない	感じて いない
①男性社員の仕事と育児の両立支援を行う必要性。	<input type="checkbox"/>				
②女性社員の仕事と育児の両立支援を行う必要性。	<input type="checkbox"/>				

**アウトカム** 5. 育児に関する知識の増加

**指標** 子育てへの自信の程度に関する親の意識

**測定方法** 質問紙調査

出所：

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング「子育て支援策等に関する調査 2014」（2014 年）

---

問 18. 子育てをする上で、不安に思っていることや悩んでいることはありますか。下記の 1 から 5 の項目について、それぞれ自身の感じ方にもっとも近いものを 1 つずつお選びください。（それぞれ 1 つずつ）

（※本アウトカムは項目 2 が該当）

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない
1. 子どもとの時間が十分に取れない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 子どもとの接し方に自信が持てない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 子育てで配偶者と意見が合わない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 仕事や自分のことが十分にできない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 子育てについてまわりの目が気になる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## アウトカム 6. 配偶者による育児参加の増加

指標 配偶者の育児・家事の実施状況に関する親の意識

測定方法 質問紙調査

出所：

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング「子育て支援策等に関する調査 2014」（2014 年）

---

問 21. あなたとあなたの配偶者・パートナーの家事、子育ての役割分担について、それぞれもっとも近いものを 1 つずつお選びください。自分と配偶者・パートナー以外の方が担っている場合は、その方が担っている部分を除いて、自分と配偶者・パートナーの関係だけでお答えください。

### (1) 家事の役割分担

1. 自分がすべて担っている。
2. 自分が主で、配偶者・パートナーが一部担っている。
3. 自分と配偶者・パートナーが同程度担っている。
4. 配偶者・パートナーがすべて担っている。
5. 配偶者・パートナーが主で、自分が一部担っている。

### (2) 子育ての役割分担

1. 自分がすべて担っている。
2. 自分が主で、配偶者・パートナーが一部担っている。
3. 自分と配偶者・パートナーが同程度担っている。
4. 配偶者・パートナーがすべて担っている。
5. 配偶者・パートナーが主で、自分が一部担っている。

問 24. あなたの配偶者・パートナーの子育て、家事への関わりは十分だと思いますか。それぞれについて、最もあてはまるものを 1 つお選びください。

(※出所の質問の文章を一部改変)

### (2) 配偶者・パートナー 家事の時間（それぞれ 1 つずつ）

	家事	子育て
1. 十分である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. ある程度は十分である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. あまり十分ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 不十分である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

---

## その他参考測定方法

出所：

明治安田生命「子育てに関するアンケート調査」（2017年）

夫が「イクメン」だと思うか。

1. イクメンだと思う。
2. どちらかというといクメンだと思う。
3. どちらかというといクメンだと思わない。
4. イクメンだと思わない。

**アウトカム** 6. 配偶者による育児参加の増加

**指標** 配偶者の子どもと過ごす時間、家事の時間

**測定方法** 質問紙調査

出所：

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング「子育て支援策等に関する調査 2014」（2014 年）

---

問 23. 配偶者・パートナーが子どもと過ごす時間、家事の時間（平日と休日に分けて）をそれぞれお選びください。

（※出所の質問の文章を一部改変）

(3) 配偶者・パートナー 家事の時間（それぞれ1つずつ）

	平日	休日
1. 30 分未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 30 分以上～1 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 1 時間以上～2 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 2 時間以上～3 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 4 時間以上～6 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 6 時間以上～8 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 8 時間以上～10 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 10 時間以上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) 配偶者・パートナー 子どもと過ごす時間（それぞれ1つずつ）

	平日	休日
1. 30 分未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 30 分以上～1 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 1 時間以上～2 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 2 時間以上～3 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 4 時間以上～6 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 6 時間以上～8 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 8 時間以上～10 時間未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 10 時間以上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**アウトカム** 7. 職場における育児と仕事を両立しやすい環境の整備

**指標** 自身の職場における子育てと仕事の両立のしやすさについての親の意識

**測定方法** 質問紙調査

出所：

明治安田生命「子育てに関するアンケート調査」（2017年）

---

自身の職場は子育てしながら働きやすい環境か。

1. 働きやすい環境
2. どちらとも言えない
3. 働きにくい環境

**アウトカム** 7. 職場における育児と仕事を両立しやすい環境の整備

**指標** 職場における両立支援の実施状況

**測定方法** 質問紙調査

出所：

厚生労働省「平成 29 年度仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査研究事業報告書 企業アンケート調査結果」（2018 年）

---

問 9. 貴社では、育児・介護休業法で定められている育児に関する制度等について、何らかの法定を上回る対応を行っていますか。（○は 1 つ）

1. 行っている
2. 行っていない

**アウトカム** 8. 育児負担の軽減

**指標** 親の育児以外に割ける時間

**測定方法** 質問紙調査

出所：

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング「子育て支援策等に関する調査 2014」（2014 年）

---

問 18. 子育てをする上で、不安に思っていることや悩んでいることはありますか。下記の 1 から 5 の項目について、それぞれ自身の感じ方にもっとも近いものを 1 つずつお選びください。（それぞれ 1 つずつ）

（※本アウトカムは項目 4 が該当）

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない
1. 子どもとの時間が十分に取れない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 子どもとの接し方に自信が持てない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 子育てで配偶者と意見が合わない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 仕事や自分のことが十分にできない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 子育てについてまわりの目が気になる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 40. 「自分の自由になる時間」についての満足度をうかがいます。該当するものを 1 つお選びください。

（※出所の質問の文章を一部改変）

1. 満足している
2. まあ満足している
3. やや不満である
4. 不満である

**アウトカム** 9. 親の（知識不足による）育児不安の軽減  
**指標** 育児に対する不安についての親の意識  
**測定方法** 質問紙調査

出所：

厚生労働省「人口減少社会に関する意識調査」（2015年）

---

子育てをしていて負担・不安に思うことがあるか。

1. とてもある。
2. どちらかといえばある。
3. どちらかと言えない。
4. ない。
5. わからない。

**アウトカム** 10. 親の孤独感の軽減  
**指標** 育児における孤独感についての親の意識  
**測定方法** 質問紙調査

出所：

こども未来財団「平成 18 年度子育てに関する意識調査報告書」（2007 年）

---

子育て中に孤立感を感じることはあるか。

1. よくある
2. ときどきある
3. たまにある
4. めったにない

## アウトカム 11. 育児と仕事の両立のしやすさの向上

指標 仕事と家庭や育児の両立の満足度についての親の意識

測定方法 質問紙調査

出所：

厚生労働省「平成 29 年度仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査研究事業報告書 労働者アンケート調査結果」（2018 年）

---

Q65. 仕事と家庭や育児の両立の満足度として、あてはまるものを一つ選んでください。

1. 満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. 満足していない

Q66. 仕事と家庭や育児の両立に関する以下の事柄について、そう思うかどうか、あてはまるものを 1 つずつ選んでください。

	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1. 仕事にやりがいを感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 仕事の時間は長い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 仕事の時間は短い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 休暇を十分とれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 夫婦のコミュニケーションが十分できている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 夫婦の家事分担に満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 家事に十分関わっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 夫婦の育児分担に満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 育児に十分関わっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 自分のために使える時間が十分ある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**アウトカム** 12. 親が安心して子育てができる

**指標** 子育てをしている生活に関する満足度についての親の意識

**測定方法** 質問紙調査

出所：

相模原市「平成 25 年度子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」（2014 年）

---

あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば満足していない
5. 満足していない

**アウトカム** 13. 育児をする親による自由なライフコースの選択  
**指標** ライフコースの選択に関する理想と実際に関する親の意識  
**測定方法** 質問紙調査

出所：

国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査（第15回）」（2015年）

---

あなたの理想とする人生はどのタイプですか（理想ライフコース）。また、理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか（予定ライフコース）。

	理想ライフコース	予定ライフコース
専業主婦コース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再就職コース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
両立コース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DINKS コース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
非婚就業コース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ライフコースの説明：

- 専業主婦コース 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
- 再就職コース 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
- 両立コース 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける
- DINKS コース 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
- 非婚就業コース 結婚せず、仕事を一生続ける

## **GSG 国内諮問委員会**

### **社会的インパクト評価ワーキング・グループ**

伊藤 健

今田 克司

大沢 望

鴨崎 貴泰

新藤 健太

藤田 滋

松田 典子

森田 修康

### **子育て支援評価ツール作成チーム**

藤田 滋

### **お問い合わせ先**

GSG 国内諮問委員会 事務局  
一般財団法人社会的投資推進財団  
03-6229-2622 / [info@siif.or.jp](mailto:info@siif.or.jp)